



VOL. 4 NO. 3 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1970. 6. 8.

## 学生の図書帯出状況

次の表は、学生の図書帯出状況について、1965学年度前期と1967学年度前期の調査結果をまとめたものである。

### 1965学年度前期

	全学生数		帯出学生数		帯出冊数		1人当り 帯出冊数
	学生数	%	人員	%	冊数	%	
1	798	29	639	23	4526	23	5.7
2	763	27	688	25	5269	26	6.9
3	615	22	574	21	4999	25	8.1
4	629	22	580	21	5208	26	8.3
計	2804	100	2481	90	20002	100	7.1

### 1967学年度前期

	全学生数		帯出学生数		帯出冊数		1人当り 帯出冊数
	学生数	%	人員	%	冊数	%	
1	938	27	783	23	6573	23	7.0
2	937	27	819	24	7708	27	8.2
3	810	23	720	20	7334	25	9.0
4	792	23	695	20	7185	25	9.0
計	3477	100	3017	87	28800	100	8.2

表によると、1965 学年度前期の学年別1人当り帯出冊数は1年次が5.7冊、2年次が6.9冊とほぼ近い数字を示している。3年次と4年次になるとより高い利用を示し、3年次が8.1冊、4年次が8.3冊と殆ど似た数字を出している。1年次、2年次と3年次、4年次の利用の態度の差異というものが重然としているが、1967 学年度前期の場合も同様の傾向がみられる。1年次が7.0冊、2年次が8.2冊であるのに較べ、3年次と4年次はそれぞれ9.0冊となって同型である。

それが次の表にみるように、1学年間を通じて調査した1968学年度と1969学年度の一人当り帯出冊数は、そうした重然とした差異はみられず、1年次から4年次までお互に接近し合っている。

そして、3年次の一人当り帯出冊数が1968学年度15.3冊、1969学年度は17.6冊と特に高い数字を示しているのが注目される。帯出概況については、他の項目にみる通りである。

#### 1968 学年度

	全学生数		帯出学生数		帯出冊数		1人当り 帯出冊数
	学生数	%	人員	%	冊数	%	
1	909	25	773	22	8593	19	9.4
2	932	26	857	24	12305	27	13.2
3	955	27	866	24	14640	32	15.3
4	795	22	719	20	9981	22	12.5
計	3591	100	3215	90	45519	100	12.6

#### 1969 学年度

	全学生数		帯出学生数		帯出冊数		1人当り 帯出冊数
	学生数	%	人員	%	冊数	%	
1	887	25	807	23	11260	21	12.7
2	876	25	841	24	12466	24	14.2
3	883	25	854	24	15572	29	17.6
4	878	25	848	24	13622	26	15.5
計	3524	100	3350	95	52920	100	15.0

上の表でみると、学生数において1968学年度は3591人、1969学年度は3524人で殆ど差はないが、帯出冊数は着しい伸びをみせている。即ち1968学年度は45519冊、1969学年度は52920冊で7401冊の増加である。1人当り帯出冊数も12.6冊から15冊に増加している。

1969学年度の表にみるように、全学生に対する各学年次の学生数の比率は25%で等しく、1冊以上借り出した学生数の比率も1年次が23%、他学年がそれぞれ24%で殆ど似ている。

これはこの図書館が利用しやすいということのあらわれかも知れないが、専門課程の上学年において帯出冊数の比率において着しい差が出てこないのは、図書館利用の刺激前に乏しいということが考えられる。

次の表は帯出冊数の区分を示した表である。

[1968 学年度]

	0	1~10	11~20	21~
1年次	15% 136人	52% 468人	20% 184人	13% 121人
2年次	8% 75人	40% 377人	30% 276人	22% 204人
3年次	10% 89人	34% 328人	29% 279人	27% 259人
4年次	10% 76人	41% 324人	28% 227人	21% 168人
計	10% 376人	42% 1497人	27% 966人	21% 752人

[1969 学年度]

	0	1~10	11~20	21~
1年次	9% 80人	46.2% 410人	25.7% 228人	19.1% 169人
2年次	4% 35人	41.0% 359人	33.0% 292人	22.0% 190人
3年次	3.2% 29人	33.5% 296人	31.2% 275人	32.1% 283人
4年次	3.3% 30人	36.7% 323人	33.0% 288人	27.0% 237人
計	4.9% 174人	39.4% 1388人	30.7% 1083人	25.0% 879人

上の表によると、1冊も図書を出したことの無い学生はきわめて少ない。1968学年度は全学生数のわずか10%であり、1969学年度は4.9%に過ぎない。1~10冊帯出の内容についてみるために1965学年度前期の調査を参考にすると、

1冊も図書を帯出しなかった学生 ----- 11.6%

1冊帯出した学生 ----- 6.5%

2~3冊帯出した学生 ----- 16.1%

4~10冊帯出した学生 ----- 42.3%

となって、4冊以上帯出した学生が多いことになっている。

次に学部別の帯出状況を見ることにする。

1968学年度学部別利用状況

	学生総数	帯出総冊数	平均
法文学部	1312	15816	12.0
教育	998	12258	12.2
理工	614	9191	14.9
農	667	8254	12.3
計	3591	45519	12.6

1969学年度学部別利用状況

	学生総数	帯出総冊数	1人当り平均
法文学部	1256	18279	14.5
教育	976	14512	14.8
理工	573	9507	16.5
農	660	9425	14.2
保健	59	1299	22.0
計	3524	53022	15.0

保健学部の1人当りの帯出冊数が22.0冊で最も高い数字を示している。次に理工学部の16.5冊である。保健学部は4類の自然科学に利用が集中しており68%を占めている。

全般的に言えることは、学生が1冊のテキストのみで終りとせず、大部分の学生が図書館の資料を利用しての学習活動を行っているということである。

次の表は、短大部の学生の1969学年度における帯出状況である。

	0	1~10	11~20	21~	学生総数	帯出総冊数	1人当り平均
1年次	69.4% 129人	248 46	4.8 9	1.0 2	186	343	1.8
2年次	52.7% 99人	36.7 69	10.1 19	0.5 1	188	557	2.9
3年次	62.1% 118人	29.0 55	7.4 14	1.5 3	190	484	2.5
計	61.3% 346人	30.2 170人	7.5 42	1.0 6	564	1384	2.4

夜間部に学ぶ者(学生)の図書帯出状況は、1人当り帯出冊数は24冊で、利用率はきわめて低いが、諸般の事情からやむを得ない面がある。図書館利用の保障ということは、学生諸君と図書館の今後の問題でもある。〔閲覧係 野原・池間〕

琉球大学付属図書館報“ひびりお” 第4巻第3号(通号13号)  
1970年6月8日発行。編集兼発行人 平良 恵仁  
沖縄那覇市当蔵町3丁目1番地。Tel. 4-0101 (240)